

SONY

PRESS RELEASE

2025年11月7日

株式会社インターネットイニシアティブ ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社

IIJとソニー、スマート農業を推進する合弁会社の設立に合意

-- 十壌水分センサーと灌水ナビゲーションサービスにより、持続可能な農業に貢献--

株式会社インターネットイニシアティブ(代表取締役 社長執行役員:谷脇 康彦、以下 IIJ)およびソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社(代表取締役社長 CEO:指田 慎二、以下 ソニー)は、スマート農業向けに土壌水分センサーや灌水(かんすい)ナビゲーションサービスを提供する合弁会社(以下新会社)の設立について、合意いたしました。新会社は、2026年4月からの営業開始を予定しています。IIJ の通信技術やスマート農業における知見と、ソニーのセンサー開発などにおける技術力を結集させ、農業現場の作業品質向上と効率化を支援し、気候変動に対応できる持続可能な農業の実現を目指します。

新会社設立の背景

地球規模の気候変動が進む中、農業分野はその影響を大きく受けることが指摘されています。年々深刻化する異常気象による生育不良といったリスクへの対応においては、従来の栽培ノウハウに依らない、新たな手法の導入が急務となっています。また、特に日本国内においては、農業従事者の高齢化や担い手不足が進行しており、農作業の省力化や効率化は喫緊の課題です。

こうした課題への対応を見据え、IIJ は自社開発の水管理センサーや LPWA(※)などの無線通信技術を活用したスマート農業事業に、2017 年から取り組んでいます。農業従事者や地方自治体と協働して、水稲や野菜、柑橘栽培など様々な農業現場において IoT 環境を構築し、取得データを活用することで、農作業の品質向上と効率化を推進してきました。

ソニーは、テクノロジーを通じた環境問題や社会課題の解決への貢献を目指し、高精度な土壌水分センサーや AI によるデータ解析技術の開発と、農業分野への応用研究に取り組んできました。

新会社では、効率化が求められる農業現場に向けて、両社が有するこれらの技術と知見を融合したサービスの開発と提供を推進していきます。

(※)LPWA(Low Power, Wide Area):低消費電力かつ長距離通信を特長とするIoT/M2Mに最適な無線通信技術

新会社の事業概要

新会社では、施設栽培農家や露地栽培農家向けに、高精度水分センサーの開発・販売、および灌水ナビゲーションサービスの提供を行います。土壌水分センサーなどから得られるデータを分析し、最適な灌水量やタイミングをユーザーに提示することで、農作物の収量増や品質向上に向けて、経験則や慣行などに依らない効果的な農地管理を支援します。

≪新会社概要≫

社名	未定
予定出資比率	IIJ 85%、ソニー 11%、他 4%
設立予定日	2026年4月1日
代表者	齋藤 透 (現職: IIJ ネットワークサービス事業本部 IoT ビジネス事業部 副事 業部長)
資本金等の総額	559 百万円
事業概要	土壌水分センシング技術を用いた水分センサーおよび農業支援サービスの開発、販売、サポートの提供等

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 荒井、増田

TEL: 03-5205-6310 FAX: 03-5205-6377

E-mail: press@iij.ad.jp

URL: https://www.iij.ad.jp/

ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社 広報課

E-mail: semicon.press@sony.com

URL: https://www.sony-semicon.com/ja/index.html

※本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。